

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|--|--|
| 1. 都道府県・市区町村: <u>岐阜県大垣市</u> | |
| 2. 人口: <u>153,992</u> 人 | 3. 世帯数: <u>54,695</u> 世帯 |
| 4. 面積: <u>79.75</u> km ² | 5. 高齢化率: <u>18.0</u> % |
| 6. 経常収支比率: <u>81.8</u> % (平成13年度) | 7. 起債制限比率: <u>13.5</u> % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | |
| | 第1次産業 <u>2.0</u> % |
| | 第2次産業 <u>39.2</u> % |
| | 第3次産業 <u>58.4</u> % |
| 主な産業: | <u>電気機械製造業</u> |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| ・65歳以上人口: | <u>27,644</u> 人 |
| ・要支援・要介護者数: | <u>3,765</u> 人 (65歳以上人口に占める割合 <u>13.0</u> %) |
| 【内訳】要支援: | <u>498</u> 人 (構成比 <u>13.2</u> %) |
| 要介護1: | <u>961</u> 人 (" <u>25.5</u> %) |
| 要介護2: | <u>715</u> 人 (" <u>19.0</u> %) |
| 要介護3: | <u>534</u> 人 (" <u>14.2</u> %) |
| 要介護4: | <u>517</u> 人 (" <u>13.7</u> %) |
| 要介護5: | <u>540</u> 人 (" <u>14.4</u> %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|--|--------------------------|
| 1. 都道府県・市区町村: 岐阜県 各務原市 | |
| 2. 人口: 136,987 人 | 3. 世帯数: 46,186 世帯 |
| 4. 面積: 19.95 km ² | 5. 高齢化率: 15.55 % |
| 6. 経常収支比率: 82.7% (平成13年度) | 7. 起債制限比率: 9.0% (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | |
| 69,338人 | 第1次産業 2.0 % |
| | 第2次産業 38.0 % |
| | 第3次産業 60.0 % |
| 主な産業: 製造業 | |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| ・65歳以上人口: 21,308 人 | |
| ・要支援・要介護者数: 2,539 人 (65歳以上人口に占める割合 11.9 %) | |
| 【内訳】要支援: 282 人 (構成比 11.1 %) | |
| 要介護1: 717 人 (" 28.2 %) | |
| 要介護2: 586 人 (" 23.1 %) | |
| 要介護3: 362 人 (" 14.3 %) | |
| 要介護4: 311 人 (" 12.2 %) | |
| 要介護5: 281 人 (" 11.1 %) | |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) 2708 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |
| 介護予防・高齢者福祉事業を実施していくうえで、近隣ケア・ボランティアグループ等の質の向上を図る | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|--|---|
| 1. 都道府県・市区町村: <u>岐阜県</u> <u>高山・大野広域連合</u> | |
| 2. 人口: <u>88,229</u> 人 | 3. 世帯数: <u> </u> 世帯 |
| 4. 面積: <u> </u> km ² | 5. 高齢化率: <u>21.99</u> % |
| 6. 経常収支比率: % (平成 <u> </u> 年度) | 7. 起債制限比率: % (平成 <u> </u> 年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | |
| | 第1次産業 % |
| | 第2次産業 % |
| | 第3次産業 % |
| 主な産業: | (<u>木工、観光、農業</u>) |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| ・65歳以上人口: | <u>19,398</u> 人 |
| ・要支援・要介護者数: | <u>2,965</u> 人 (65歳以上人口に占める割合 <u>15.29</u> %) |
| 【内訳】要支援: | <u>312</u> 人 (構成比 <u>10.5</u> %) |
| 要介護1: | <u>805</u> 人 (" <u>27.2</u> %) |
| 要介護2: | <u>594</u> 人 (" <u>20.0</u> %) |
| 要介護3: | <u>409</u> 人 (" <u>13.8</u> %) |
| 要介護4: | <u>360</u> 人 (" <u>12.1</u> %) |
| 要介護5: | <u>485</u> 人 (" <u>16.4</u> %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) <u>2,706</u> 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |
| <u>介護認定者数の増加により、審査件数が増加しており、適正かつ迅速にいかに審査を進めるか。</u> | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|---|--------------------------------|
| 1. 都道府県・市区町村： 静岡県 磐田市 | |
| 2. 人口：114,731 86,021 人 | 3. 世帯数： 2293 世帯 |
| 4. 面積： 64.27 km ² | 5. 高齢化率： 17.0 % |
| 6. 経常収支比率： 73.0 % (平成11-13年度) | 7. 起債制限比率： 11.0 % (平成11-13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業： H12.10 主な産業： 製造業 | |
| 第1次産業 | 5.1 % |
| 第2次産業 | 44.8 % |
| 第3次産業 | 48.7 % |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| - 65歳以上人口： | 15,708 人 |
| - 要支援・要介護者数： | 1,630 人 (65歳以上人口に占める割合 10.4 %) |
| 【内訳】要支援： | 213 人 (構成比 13.1 %) |
| 要介護1： | 520 人 (" 31.9 %) |
| 要介護2： | 288 人 (" 17.7 %) |
| 要介護3： | 217 人 (" 13.3 %) |
| 要介護4： | 206 人 (" 12.6 %) |
| 要介護5： | 186 人 (" 11.4 %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) 2,900 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |
| <p>介護保険が適正に行われているのか 中味の確認が 保障者として できていないと感じています</p> <p>プランをたてるリマネ-端- 現場へ出向く 訪問介護員 等が 介護予防につながるようなかかりをするために 可能な限り 取組むと 探しています。</p> | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|--|----------------------------------|
| 1. 都道府県・市区町村： 静岡県 御殿場市 | |
| 2. 人口： 85,667 人 | 3. 世帯数： 29,083 世帯 |
| 4. 面積： 194.63 km ² | 5. 高齢化率： 15.2 % |
| 6. 経常収支比率： 77.2 % (平成13年度) | 7. 経費制限比率： 5.7 % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業： | |
| 第1次産業 | 4 % |
| 第2次産業 | 33 % |
| 第3次産業 | 60 % |
| 主な産業： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 1. サービス業 2. 製造業 3. 商業、観光 </div> | |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| - 65歳以上人口： 13,072 人 | |
| - 要支援・要介護者数： 1,299 人 (65歳以上人口に占める割合 9.9 %) | |
| 【内訳】 要支援： 70 人 (構成比 5.6 %) | |
| 要介護1： 301 人 (" 23.2 %) | |
| 要介護2： 293 人 (" 22.6 %) | |
| 要介護3： 221 人 (" 17.0 %) | |
| 要介護4： 225 人 (" 17.3 %) | |
| 要介護5： 186 人 (" 14.3 %) | |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) 2,600 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |
| <p>在宅サービスの利用は、認定者数の増加と合せ受給者割合が急増している。今後も増加傾向は続くものと考えられるので、介護保険料の負担増がいつまで続くのか、ス、いくら位が上限なのかを考慮する。</p> | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|--|---|
| 1. 都道府県・市区町村: 静岡県 清水町 | |
| 2. 人口: 31,787 人 | 3. 世帯数: 11,896 世帯 |
| 4. 面積: 8.84 km ² | 5. 高齢化率: 14.3 % |
| 6. 経常収支比率: 70.6 % (平成13年度) | 7. 経費制限比率: 7.0 % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | 第1次産業 1.5 % 第2次産業 36.4 % 第3次産業 62.1 % |
| 主な産業: | 精密機器製造業 御花・小売業 |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| - 65歳以上人口: | 4,715 人 |
| - 要支援・要介護者数: | 496 人 (65歳以上人口に占める割合 10.52 %) |
| 【内訳】要支援: | 41 人 (構成比 8.27 %) |
| 要介護1: | 102 人 (" 20.56 %) |
| 要介護2: | 112 人 (" 22.58 %) |
| 要介護3: | 95 人 (" 19.15 %) |
| 要介護4: | 80 人 (" 16.13 %) |
| 要介護5: | 66 人 (" 13.31 %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) 2,900 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・施設サービス利用が増え、保険給付も増えていくので、在宅でも安心して生活、介護ができるように、在宅サービスを充実させていく。 ・介護予防事業の充実、地域支援体制の整備 サービス事業者連絡会の設置、地域PTA会議 地域の関係団体との連携 | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|--|--|
| 1. 都道府県・市区町村: 静岡県 榛原町 | |
| 2. 人口: 25,147 人 | 3. 世帯数: 7,158 世帯 |
| 4. 面積: 53.36 km ² | 5. 高齢化率:(外国人含む) 20.4 % |
| 6. 経常収支比率: 78.5 % (平成13年度) | 7. 経費制限比率: 7.5 % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | 第1次産業 20.2 % 第2次産業 40.8 % 第3次産業 38.9 % |
| 主な産業: | 農業・製造業・サービス業 |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| - 65歳以上人口: | 5,328 人 |
| - 要支援・要介護者数: | 671 人 (65歳以上人口に占める割合 12.6 %) |
| 【内訳】 要支援: | 83 人 (構成比 12.37 %) |
| (2号含む) 要介護1: | 200 人 (" 29.81 %) |
| 要介護2: | 122 人 (" 18.18 %) |
| 要介護3: | 80 人 (" 11.92 %) |
| 要介護4: | 100 人 (" 14.90 %) |
| 要介護5: | 86 人 (" 12.82 %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) | 2,500 円 |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | | | |
|--|-----------------------|---------------------------------|----------------|
| 1. 都道府県・市区町村: | | 愛知県 - 安城市 | |
| 2. 人口: | 165,703 人 | 3. 世帯数: | 57,019 世帯 |
| 4. 面積: | 86.01 km ² | 5. 高齢化率: | 12.93 % |
| 6. 経常収支比率: | 71.6 % (平成13年度) | 7. 起債制限比率: | 5.5 % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | | 第1次産業 | 3.85 % |
| | | 第2次産業 | 46.89 % |
| | | 第3次産業 | 48.96 % |
| 主な産業: | | ・ 製造業 (輸送用機械器具他) ・ 農業 | |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | | | |
| - 65歳以上人口: | | 21,433 人 | |
| - 要支援・要介護者数: | | 2,584 人 (65歳以上人口に占める割合 12.06 %) | |
| 【内訳】 要支援: | | 363 人 (構成比 14.05 %) | |
| 要介護1: | | 761 人 (" 29.45 %) | |
| 要介護2: | | 469 人 (" 18.15 %) | |
| 要介護3: | | 307 人 (" 11.88 %) | |
| 要介護4: | | 320 人 (" 12.38 %) | |
| 要介護5: | | 364 人 (" 14.09 %) | |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) | | 2,700 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | | | |
| <p>限りの財源を効率的かつ効率的に活用するためには、事業運営の2700円以下に抑えることが、今後の事業評価をより行う課題となっている。</p> | | | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | | |
|--|---------------------------|-----------------------|
| 1. 都道府県・市区町村: | 愛知県 - 滝美町 | |
| 2. 人口: | 22,939 人 | 3. 世帯数: 5,963 世帯 |
| 4. 面積: | 82.18 km ² | 5. 高齢化率: 23 % |
| 6. 経常収支比率: 85.6 % (平成19年度) | 7. 起債制限比率: 8.8 % (平成19年度) | |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | 第1次産業 | 51.9 % |
| | 第2次産業 | 12.7 % |
| | 第3次産業 | 35.3 % |
| 主な産業: | 農業・漁業 | |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | | |
| ・65歳以上人口: | 5,273 人 | |
| ・要支援・要介護者数: | 497 人 | (65歳以上人口に占める割合 9.4 %) |
| 【内訳】要支援: | 42 人 | (構成比 0.8 %) |
| 要介護1: | 119 人 | (" 2.2 %) |
| 要介護2: | 94 人 | (" 1.8 %) |
| 要介護3: | 55 人 | (" 1.0 %) |
| 要介護4: | 83 人 | (" 1.6 %) |
| 要介護5: | 104 人 | (" 2.0 %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) | 1,900 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | | |

市町村職員を対象とするセミナー（参加申込書）

| | |
|--|----------------------------------|
| 1. 都道府県・市町村: 愛知県 稲沢市 | |
| 2. 人口: 101,192 人 | 3. 世帯数: 35,178 世帯 |
| 4. 面積: 48.35 km² | 5. 高齢化率: 14.85 % |
| 6. 経常収支比率: 76.9 % (平成13年度) | 7. 起債制限比率: 5.7 % (平成13年度) |
| <p>8. 産業別就業人口と主な産業: 第1次産業 3,938人 6.4% 第2次産業 18,679人 35.0% 第3次産業 30,914人 57.8% 分類不能 434人 0.8%</p> <p>主な産業: 果樹苗木生産、自動車部品製造 電機製造(エレベータ、エスカレータ)</p> | |
| <p>9. 要介護者数等の状況(平成15年1月31日現在)</p> <p>・65歳以上人口: 15,032人</p> <p>・要支援・介護者数: 1,419人 (65歳以上人口に占める割合 9.4 %)</p> <p>【内訳】要支援: 67人 (構成比 4.7 %)</p> <p>要介護1: 317人 (" 22.3 %)</p> <p>要介護2: 361人 (" 25.5 %)</p> <p>要介護3: 254人 (" 17.9 %)</p> <p>要介護4: 224人 (" 15.8 %)</p> <p>要介護5: 196人 (" 13.8 %)</p> | |
| 10. 現行介護保険料(第1号被保険者の基準月額) 2,628 円 | |
| <p>11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。</p> <p>・グループホームの施設化について</p> <p>・本来グループホームは、在宅サービスのはずであるが、地町村の生活保護受給者を入居させて住所もグループホームへ移す事例が目立つ。グループホーム所在地は生保と介護保険の両面での負担となる。介護老人福祉施設と同様の「住所地特例」の考え方は導入できないか。</p> | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | | | |
|--|---|--------------|-----------------------|
| 1. 都道府県・市区町村： <u>徳島県大浜市</u> | | | |
| 2. 人口： | <u>73,754</u> 人 | 3. 世帯数： | <u>25,642</u> 世帯 |
| 4. 面積： | <u>74.97</u> km ² | 5. 高齢化率： | <u>17.20</u> % |
| 6. 経常収支比率： | <u>82.5</u> % (平成13年度) | 7. 起債制限比率： | <u>6.5</u> % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業： | 第1次産業 | <u>2.38</u> | % |
| | 第2次産業 | <u>46.70</u> | % |
| | 第3次産業 | <u>50.92</u> | % |
| 主な産業： | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <u>製造業</u> </div> | | |
| | (平成12年10月1日) | | |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | | | |
| ・65歳以上人口： | <u>12,689</u> | 人 | |
| ・要支援・要介護者数： | <u>1,368</u> | 人 | (65歳以上人口に占める割合 %) |
| 【内訳】要支援： | <u>194</u> | 人 | (構成比 <u>14.18</u> %) |
| 要介護1： | <u>426</u> | 人 | (" <u>31.14</u> %) |
| 要介護2： | <u>254</u> | 人 | (" <u>18.57</u> %) |
| 要介護3： | <u>182</u> | 人 | (" <u>13.30</u> %) |
| 要介護4： | <u>173</u> | 人 | (" <u>12.65</u> %) |
| 要介護5： | <u>139</u> | 人 | (" <u>10.16</u> %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) | <u>2,549</u> | 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | | | |
| <p><u>高齢者の介護サービス、高齢者サービスを適切に利用できるよう地域サービスマップを作成し配布しています。</u></p> | | | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | | |
|--|--|---------------------------|
| 1. 都道府県・市区町村: | 愛知県 大口町 | |
| 2. 人口: | 21,225 人 | 3. 世帯数: 2,041 世帯 |
| 4. 面積: | 13.58 km ² | 5. 高齢化率: 13.6 % |
| 6. 経常収支比率: | 75.8 % (平成13年度) | 7. 起債制限比率: 4.4 % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | 第1次産業 30人 0.1 % 第2次産業 13,912人 67.9 % 第3次産業 6,562人 32.0 % 主な産業: ①製造業 ②卸小売業 ③運送業 | |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | ・65歳以上人口: 2,887 人 ・要支援・要介護者数: 368 人 (65歳以上人口に占める割合 12.7 %) 【内訳】要支援: 50 人 (構成比 13.6 %) 要介護1: 151 人 (" 41.0 %) 要介護2: 56 人 (" 15.3 %) 要介護3: 49 人 (" 13.3 %) 要介護4: 31 人 (" 8.4 %) 要介護5: 31 人 (" 8.4 %) | |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) | 2,941 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | 施設入所者、施設入所希望者と在宅で どのように介護していくかの課題がある。 | |

3月セミナー参加市区町村の概況

(H15.1.31現在)

| | | | |
|---|------------------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 都道府県・市区町村: | | 愛知県・岡崎市 | |
| 2. 人口: | 347,732 人 | 3. 世帯数: | 126,230 世帯 |
| 4. 面積: | 226.97 km ² | 5. 高齢化率: | 14.06 % |
| 6. 経常収支比率: | 173.9 % (平成13年度) | 7. 起債制限比率: | 5.8 % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | | 第1次産業 | 1.9 % |
| | | 第2次産業 | 42.9 % |
| | | 第3次産業 | 55.1 % |
| 主な産業: | | 輸送用機械器具製造業 | |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) (第1号被保険者のみ) | | | |
| ・65歳以上人口: | | 48,903 人 | |
| ・要支援・要介護者数: | | 5,879 人 (65歳以上人口に占める割合 12.02%) | |
| 【内訳】要支援: | | 974 人 (構成比 16.6 %) | |
| 要介護1: | | 1,639 人 (" 27.9 %) | |
| 要介護2: | | 1,114 人 (" 18.9 %) | |
| 要介護3: | | 743 人 (" 12.6 %) | |
| 要介護4: | | 690 人 (" 11.8 %) | |
| 要介護5: | | 719 人 (" 12.2 %) | |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) | | 2,700 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービスの質の向上を目指し、介護相談員派遣等事業などを実施。 ・ 介護サービスの適正利用の推進を図るため、介護保険制度に関する勉強会への講師派遣などを実施。 | | | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|---|---|
| 1. 都道府県・市区町村: 愛知県 刈谷市 | |
| 2. 人口: 106,103 人 | 3. 世帯数: 51,703 世帯 |
| 4. 面積: 52.45 km ² | 5. 高齢化率: 12.3 % |
| 6. 経常収支比率: 58.5 % (平成13年度) | 7. 起債制限比率: 4.3 % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | |
| | 第1次産業 1,229人 1.7 % |
| | 第2次産業 26,457人 51.2 % |
| | 第3次産業 28,200人 46.6 % |
| 主な産業: | 輸送用機械器具製造のうち自動車産業が主な産業である。またトヨタグループのうち6社の本社がある。 |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| ・65歳以上人口: | 16,677 人 |
| ・要支援・要介護者数: | 2,152 人 (65歳以上人口に占める割合 12.9 %) |
| 【内訳】 要支援: | 226 人 (構成比 1.3 %) |
| 要介護1: | 628 人 (" 3.8 %) |
| 要介護2: | 427 人 (" 2.6 %) |
| 要介護3: | 336 人 (" 2.0 %) |
| 要介護4: | 322 人 (" 1.9 %) |
| 要介護5: | 213 人 (" 1.3 %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) 2,700 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |
| <p>介護予防及び未利用者の利用促進等が課題であると、考えられる。</p> <p>今後の取り組みについては、健康課において健康づくり事業を行う一方、高齢者の自立に向けた事業を充実させ介護予防・生活支援につなげるとともに、各種サービスのPRに努め、利用促進を図る。</p> | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | | | | | | | | | |
|--|--|------------|----------------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 1. 都道府県・市区町村: | | 愛知県 木曽川町 | | | | | | | |
| 2. 人口: | 32,006 人 | 3. 世帯数: | 10,790 世帯 | | | | | | |
| 4. 面積: | 9.51 km ² | 5. 高齢化率: | 16 % | | | | | | |
| 6. 経常収支比率: | 84.4 % (平成13年度) | 7. 起債制限比率: | 4.3 % (平成13年度) | | | | | | |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | <table border="0"> <tr> <td>第1次産業</td> <td>0.7 %</td> </tr> <tr> <td>第2次産業</td> <td>42.4 %</td> </tr> <tr> <td>第3次産業</td> <td>56.9 %</td> </tr> </table> | | | 第1次産業 | 0.7 % | 第2次産業 | 42.4 % | 第3次産業 | 56.9 % |
| 第1次産業 | 0.7 % | | | | | | | | |
| 第2次産業 | 42.4 % | | | | | | | | |
| 第3次産業 | 56.9 % | | | | | | | | |
| 主な産業: | <p>第1次: 農業, 林業, 漁業 第2次: 鉱業, 建設業, 製造業 第3次: 電気・ガス・熱供給・水道業, 運輸・通信業, 卸売・小売・飲食店, 金融・保険業, 不動産業, サービス業, 公務</p> | | | | | | | | |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | | | | | | | | | |
| - 65歳以上人口: 5,161 人 | | | | | | | | | |
| - 要支援・要介護者数: 621 人 (65歳以上人口に占める割合 12 %) | | | | | | | | | |
| 【内訳】要支援: 66 人 (構成比 11 %) | | | | | | | | | |
| 要介護1: 149 人 (" 24 %) | | | | | | | | | |
| 要介護2: 112 人 (" 18 %) | | | | | | | | | |
| 要介護3: 87 人 (" 14 %) | | | | | | | | | |
| 要介護4: 93 人 (" 15 %) | | | | | | | | | |
| 要介護5: 87 人 (" 14 %) | | | | | | | | | |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) | | 2,671 円 | | | | | | | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について、 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防により 介護保険のサービスが必要になる前から、支援することで、受給者の増加を抑える。 ・ 転倒骨折予防教室を開き 高齢者の筋力低下等を防ぐ | | | | | | | | | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|--|---|
| 1. 都道府県・市区町村：愛知県宝飯郡小坂井町 | |
| 2. 人口：22,138 人 | 3. 世帯数：7,181 世帯 |
| 4. 面積：9.92 km ² | 5. 高齢化率：16.9 % |
| 6. 経常収支比率：79.7 % (平成12年度) | 7. 起債制限比率：7.7 % (平成12年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業： | 第1次産業 6.5 % 第2次産業 45.8 % 第3次産業 47.7 % |
| 主な産業： | 製造業(工場等) |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| ・65歳以上人口： | 3,879 人 |
| ・要支援・要介護者数： | 408 人 (65歳以上人口に占める割合 10.52%) |
| 【内訳】要支援： | 49 人 (構成比 12.01%) |
| 要介護1： | 137 人 (" 33.58%) |
| 要介護2： | 66 人 (" 16.18%) |
| 要介護3： | 67 人 (" 16.42%) |
| 要介護4： | 47 人 (" 11.52%) |
| 要介護5： | 42 人 (" 10.29%) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の基準月額) | 2,544 円 |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |

3月セミナー参加市区町村の概況

| | |
|--|--|
| 1. 都道府県・市区町村: <u>愛知県小牧市</u> | |
| 2. 人口: <u>147,055</u> 人 | 3. 世帯数: <u>53,815</u> 世帯 |
| 4. 面積: <u>62.82</u> km ² | 5. 高齢化率: <u>12.0</u> % |
| 6. 経常収支比率: <u>71.8</u> % (平成13年度) | 7. 起債制限比率: <u>6.4</u> % (平成13年度) |
| 8. 産業別就業人口と主な産業: | |
| | 第1次産業 <u>7,092</u> <u>1.4</u> % |
| | 第2次産業 <u>32,088</u> <u>41.7</u> % |
| | 第3次産業 <u>43,742</u> <u>56.9</u> % |
| 主な産業: | <u>工作機械製造業</u> |
| 9. 要介護者数等の状況 (平成15年1月31日現在) | |
| - 65歳以上人口: | <u>18,599</u> 人 |
| - 要支援・要介護者数: | <u>2,026</u> 人 (65歳以上人口に占める割合 <u>93.6</u> %) |
| 【内訳】要支援: | <u>220</u> 人 (構成比 <u>97.7</u> %) |
| 要介護1: | <u>570</u> 人 (" <u>94.4</u> %) |
| 要介護2: | <u>405</u> 人 (" <u>91.4</u> %) |
| 要介護3: | <u>266</u> 人 (" <u>93.6</u> %) |
| 要介護4: | <u>289</u> 人 (" <u>92.7</u> %) |
| 要介護5: | <u>276</u> 人 (" <u>92.8</u> %) |
| 10. 現行介護保険料 (第1号被保険者の標準月額) <u>2,516</u> 円 | |
| 11. 介護保険の事業運営をはじめとする高齢者福祉全般に関して、限りある財源のもとで、いかに適正かつ効率的に保険給付や各種事業を行っていくかという観点から、現在、貴市区町村において課題と考えられること及び取組の方向について。 | |
| <p>介護保険サービスの提供にあたっては、いわゆる上乘せや横出しサービスについては実施せず、基本的な制度の枠組みの中で制度の円滑な提供を図っていきます。</p> <p>今後においては、介護保険料の増徴を回避するためにも、いかに市民全体の健康寿命の延伸を図っていくかといった介護予防への実効性ある取り組みが課題となっています。なお、この場合においても、第1号被保険者への負担転化となる介護保険制度のなかでの実施ではなく、広く市民を対象とした一般施策としての実施を図っていくものです。</p> | |